

政策評価トピックス 第 83 号（2007 年 9 月 15 日）

・農林水産省：政策評価結果及び反映状況

農林水産省は、平成 18 年度政策の政策評価結果を公表するとともに、18 年度に実施した政策評価の結果の政策への反映状況についても公表しました。

農林水産省政策評価においては、基本計画に基づき実績評価、総合評価、事業評価を行うこととしており、今回の評価結果は、実績評価の方式に基づく 18 年度の政策の評価結果を取りまとめたものです。実績評価においては、16 の政策分野における 55 の目標を対象とし、そのうち、約 6 割の達成ランクが概ね有効となりました。

評価結果の政策への反映状況については、昨年度公表された実績評価の結果及び公共事業等の事前評価の結果を 19 年度政策に反映した状況を公表しています。

<http://www.maff.go.jp/j/assess/hyoka/kekka/2006/pdf/summary.pdf>

<http://www.maff.go.jp/j/assess/pdf/17hanei.pdf>

・岩手県：平成 19 年度実施政策評価結果

岩手県の総合計画は、五つの社会、17 の政策、78 の分野及び約 350 の主要な事業で構成されており、政策評価は、具体的な推進方策や取組が盛り込まれていない 4 分野を除いた 74 分野を主な対象として、総合計画に掲げる主要な指標や県民意識調査を基本に、目指していた状況にどれだけ近づいたかという視点から総合的に評価しています。

この程、18 年度の状況の評価結果を公表しました。それによれば、進展しているのが 6 分野、維持が 58 分野、停滞が 10 分野となっています。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0212/seisaku/H19kekka/digest18.htm>

・神奈川県：行政システム改革基本方針

神奈川県では、平成 18 年 10 月に「行政システム改革基本方針（仮称）素案」を公表し、県民の意見を募集していたところ、この程、意見を踏まえ、「行政システム改革基本方針」を策定、公表しました。基本方針は、取組期間を 19 から 22 年度としており、変化に対応した質の高い県政の展開を目標に、1) 多様な公的サービスの担い手との協働と連携、2) 多様な課題に対応できるスリムで効率的な体制の確立、3) 県民の視点に立った行政サービスの提供を基本方針としています。

また、改革の実効性を確保するため、毎年度の進行管理に当たっては、具体的な取組項目や実施状況を公表するとしています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/gyoukaku/gyoukakukihonhoshinpage.html>

・大阪府：市場化テスト対象業務の民間開放の方向性

大阪府では、市場化テストの対象業務について、5～6 月にかけて民間事業者等から事業提案を公募し、7 月に大阪版市場化テスト監理委員会において、事業提案の内容確認及び官民比較等の審議が行われ、その結果を踏まえ、8 月に府として、対象業務の民間開放の方向性を決定しました。

職員研修業務及び大阪自動車税事務所の催告事務は、民間開放を実施することとし、前者については、20 年 4 月から民間事業者による事業を開始する予定としています。また、高等職業技術専門校テクノ講座及び建設業許可申請の受付等事務は、検討を継続するとしています。

<http://www.pref.osaka.jp/kikaku/sijohka/jisshi.html>